

〈第2章〉 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり

- 第1節 充実した教育と教育施設の整備
- 第2節 青少年の健全育成と家庭教育の充実
- 第3節 コミュニティ活動と社会参加の推進
- 第4節 生きがいづくり・生涯学習の推進
- 第5節 文化活動の振興と文化遺産の保護



第1節 充実した教育と教育施設の整備

【5年後の茨城町が目指す姿(目標像)】

- 計画的な教育施設の補修・改築の実施
- 教育振興の施策に関する基本的な計画の策定
- 学区編成の検討

【現況と課題】

本町には、中学校3校・小学校9校・公立幼稚園5園があります。少子化の傾向に伴い、小学校では複式学級になるところもでてきています。また、施設においては、老朽化や耐震強度不足の問題が生じています。梅香中学校の校舎改築工事が完了し、平成20年度から明光中学校の校舎改築工事に取り組んでいます。

今後は、計画的に耐震診断を実施するとともに、少子化に対応した学校の適正規模について検討し統廃合を視野に入れながら、順次、補修・改築や建て替えを進めていく必要があります。

教育における法の施行や改正に伴い、教育課程・学習指導やその他学校教育に関する専門的事項の指導能力の向上が求められています。そのため、町の教育はいかにあるべきかを考え、教育振興の施策に関する基本的な計画を定めるよう努め、質的充実や地域に根ざした特色ある学校づくり、地域に開かれた学校づくり等を進めることが必要となっています。

データ

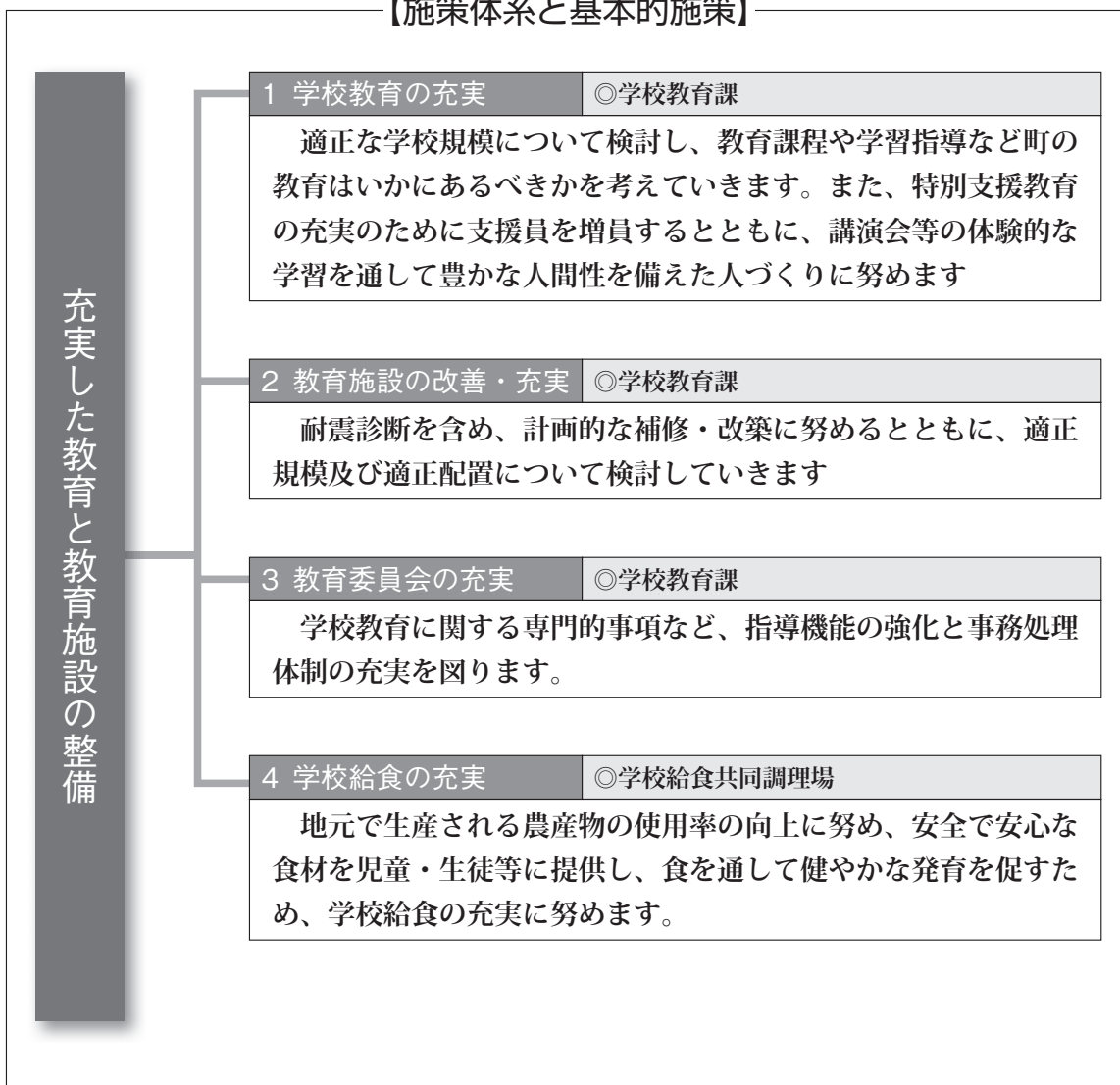
町内小中学校の児童・生徒数の推移

各年5月1日現在 (単位:人)

	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
石崎小学校	248	242	244	249	245	235	218	215	202	189
長岡小学校	474	460	438	430	415	402	402	414	417	413
大戸小学校	193	174	171	156	156	150	156	150	148	156
川根小学校	351	338	336	334	345	346	343	329	307	302
上野合小学校	218	202	177	164	155	156	153	163	161	166
沼前小学校	242	228	227	213	204	204	201	192	175	163
駒場小学校	176	169	160	173	167	159	165	171	166	160
広浦小学校	88	68	64	57	54	46	48	51	53	54
長岡第二小学校	206	193	187	186	172	180	185	194	188	175
計	2,196	2,074	2,004	1,962	1,913	1,878	1,871	1,879	1,817	1,778
明光中学校	731	722	703	652	579	569	540	516	505	508
桜丘中学校	267	262	248	236	205	199	184	193	191	189
梅香中学校	348	342	318	300	285	259	242	224	225	232
計	1,346	1,326	1,269	1,188	1,069	1,027	966	933	921	929
小中計	3,542	3,400	3,273	3,150	2,982	2,905	2,837	2,812	2,738	2,707

資料：学校教育課

【施策体系と基本的施策】



【主要な事業】

- ①教育施設の整備
- ②教育の質的充実
- ③教育委員会の事務処理体制の充実

【成果指標】

	平成 19 年(現状値)	平成 24 年度目標
特別支援教育支援員の配置	1 人	12 人
耐 震 診 断 実 施 率	63%	100%

第2節 青少年の健全育成と家庭教育の充実

【5年後の茨城町が目指す姿(目標像)】

- 家庭教育の充実（家庭・地域・学校の連携）
- 青少年団体の充実
- 生活体験・活動体験の機会の提供

【現況と課題】

都市化の進展や情報通信環境の変化など、地域社会の青少年を取り巻く環境が大きく変わり、非行や犯罪の低年齢化・凶悪化が大きな社会問題となっています。また、インターネットや携帯電話など情報技術の発達による新たな問題も起きています。

このため、青少年の豊かな人間形成を図るためには、家庭や地域に密接な子ども会活動や、異なる年齢層との様々な生活体験や活動体験を通し健全育成に取り組む必要があります。

ブックスタート事業^{*3}により、乳幼児期から読み聞かせに取り組み、人格形成における家庭の果たす役割を考えるなど、家庭教育の充実を図ることが必要です。そして、家庭・地域・学校が連携を図りながら、心豊かでたくましく生きる力を備えた青少年が、健やかに成長できるように地域社会全体で見守ることも求められます。

データ

各種の青少年育成事業

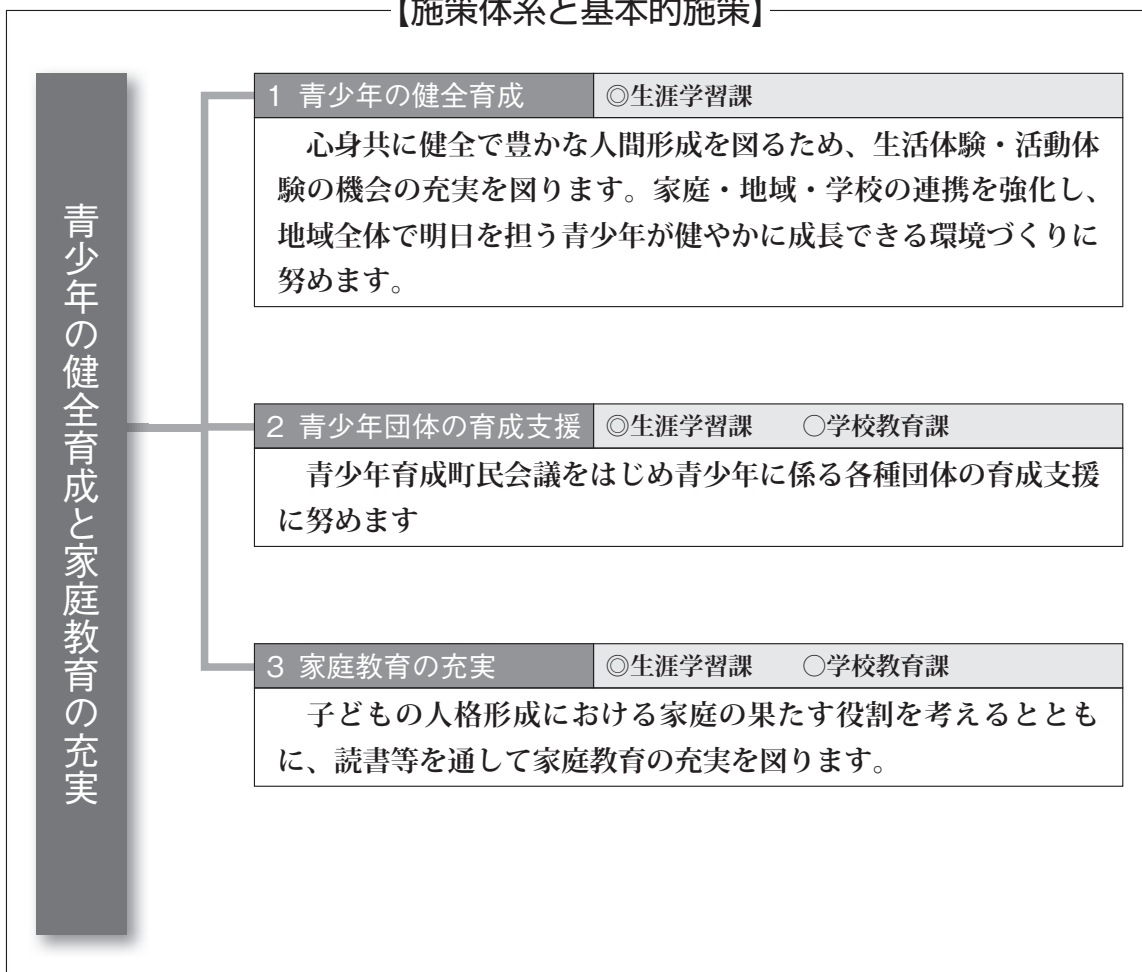
	平成18年	平成19年	成人式参加者及び参加率	
	フロンティアアドベンチャー事業 ^{*8}	45人	42人	平成19年
子ども会球技大会	320人	306人	平成20年	357人 77.10%
ドッジボール選手権大会	283人	242人		

講座	平成19年度受講者数
子ども教室(将棋・お菓子づくり・チャレンジスポーツ) 前期(5～9月)	52人 3教室
子ども教室(将棋・お菓子づくり・チャレンジスポーツ・和太鼓)後期(10～2月)	69人 4教室
夏休み(木工・マジック)教室	40人
図書館体験教室	12人

スポーツ少年団	9団体
サッカー	4団体、ミニバスケットボール 1団体、バレーボール 1団体、ソフトテニス 1団体、野球 1団体、空手道 1団体

資料：生涯学習課

【施策体系と基本的施策】



【主要な事業】

- ①ブックスタート事業*³の拡充
- ②生活体験、活動体験の機会の充実
- ③地域との連携強化

【成果指標】

	平成19年(現状値)	平成24年度目標
図書館での読み聞かせ (ボランティア)	異年齢に同一内容の 読み聞かせ	各年齢に応じ適した内容の 読み聞かせ

第3節 コミュニティ活動と社会参加の推進

【5年後の茨城町が目指す姿(目標像)】

- 地域コミュニティの育成
- 地域ボランティアの確立（防犯対策を含む）
- 団塊世代を活かすコミュニティ活動の形成

【現況と課題】

核家族化の進行や個人の生活様式の変化により、人と人との繋がりが希薄になっており、地域のコミュニティの弱体化が危惧されます。一方で、地域によっては三世代の交流やボランティアによる登下校のパトロールを実施するところもあります。

住民のニーズが多様化する中、行政が全ての地域課題に対応することは不可能とされます。これからは、地域住民による主体的で積極的なまちづくりへの取り組みや、環境美化活動、自然環境の保全活動をはじめとするボランティア活動が重要です。また、団塊世代の豊富な経験と知識等を活かし、個々の地域ごとの特色を出したコミュニティ活動を促進することや、その活動が町全体に広がるように取り組むことが求められています。

地域によっては、犯罪を最小限に抑えることや予防のための自警団等が組織されています。そのような団体を含め防犯連絡員などと協力しながら、防犯活動を行っていくことも必要です。また、これらの地域コミュニティの組織化を通して、安全・安心なまちづくりを進めることが求められます。さらに、男女が互いに人権を尊重し責任を持ち、性別に関係なく個性を認め能力を十分に発揮できる、男女共同参画の環境づくりが必要です。

データ

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
公民館等の新築	常井公民館	台公民館 越安ふるさとコミュニティセンター	飯沼公民館	野曾ふるさとコミュニティセンター
改築・改修		駒場公民館・船渡集落センター・柘原集落センター・下土師公民館・下座公民館	大山原集落センター・神谷集落センター・神宿公民館・明光公民館	下郷集落センター・東永寺公民館・上雨ヶ谷集落センター・宮前公民館

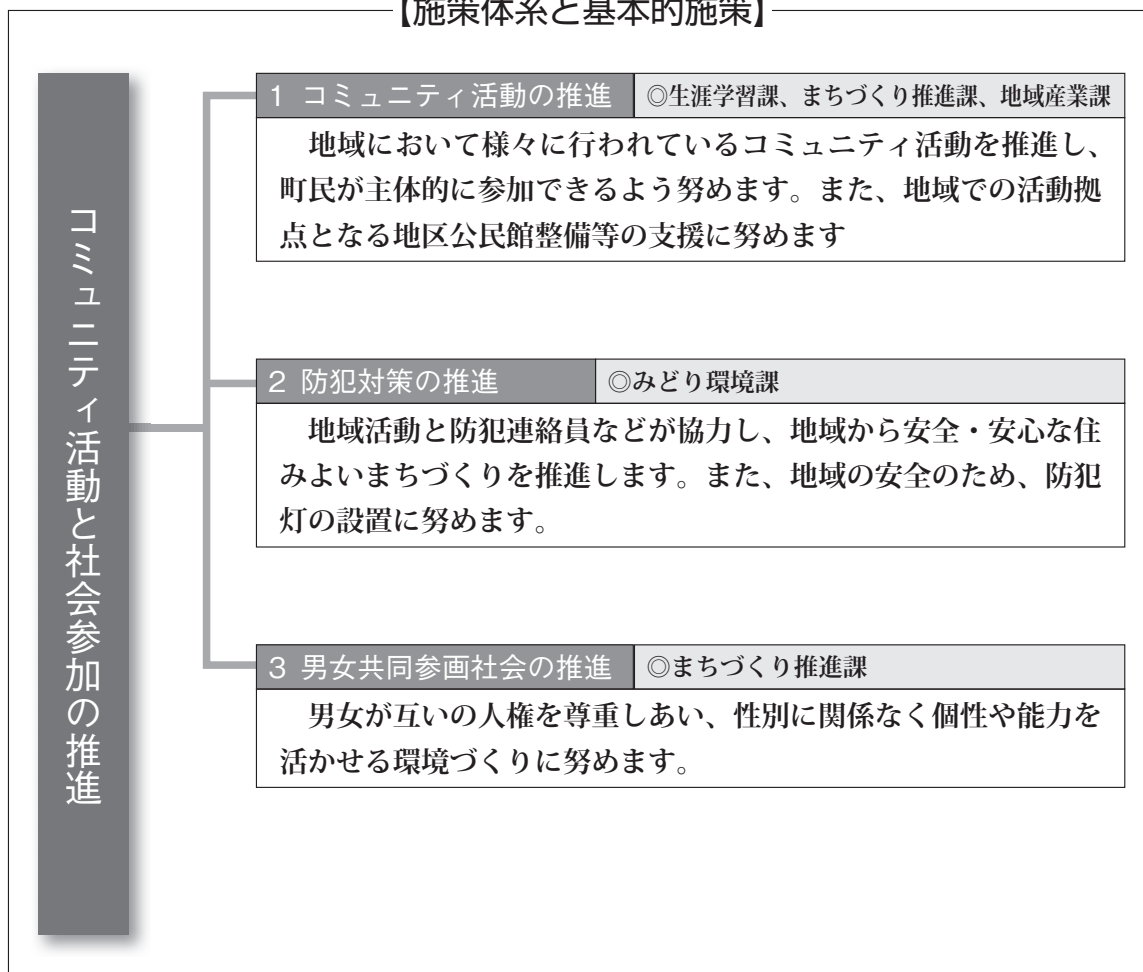
男女共同参画講演会参加者

平成17年度 33人(内男性2人) 平成18年度 46人(内男性4人)

資料：地域産業課、まちづくり推進課

担当課：生涯学習課、まちづくり推進課、みどり環境課、地域産業課

【施策体系と基本的施策】



【主要な事業】

- ①地域コミュニティの強化*⁹
- ②防犯意識の向上
- ③男女共同参画社会の推進

【成果指標】

	平成 18 年(現状値)	平成 24 年度目標
自警団	3 団体	5 団体

第4節 生きがいつくり・生涯学習の推進

【5年後の茨城町が目指す姿(目標像)】

- 生涯学習の機会の確保
- 学習講座の充実

【現況と課題】

本町の高齢化率は、平成18年県平均20.1%と比較すると、4%高い24.1%となっており、平成27年には、31.3%に上昇すると予想されます。このような状況の中、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って生活していくためには、健康で安全な暮らしを支える体制づくりが重要です。そのため、生涯にわたる生きがいつくりや学習環境づくりが必要になっています。様々な学習機会を充実させながら、学習内容に関する情報を提供するとともに、公民館や図書館、運動公園等の学習施設を整備・充実させ、町民一人ひとりの生きがいつくりについて意識の向上を図るなど、社会教育の推進と生涯学習の充実を図る必要があります。

個々人が余暇を過ごすための趣味やボランティア活動等を見だし、有意義な時間を過ごすことが活力ある生活につながります。また、高齢者や障害を持つ方々をはじめ全ての人々が余暇を有意義に過ごすため、より多くの機会を提供し、安全で安心して日常生活や社会参加ができる、生きがいの持てる場をつくることが重要です。

データ

平成19年公民館教養講座

	回	受講料	受講者	講座名
教養講座	16	5,000円	77人	かなと実用書道、フラダンス、太極拳、オカリナ
短期講座	10	3,000円	125人	字手紙、料理入門、健康体操、ふるさとの歴史、パソコン初級(前期・後期)、フラワーアレンジメント

長生大学(65歳以上の高齢者対象) 年間9回

7月～3月(2年次6月～2月) 毎月1回開講 H19受講生 316人

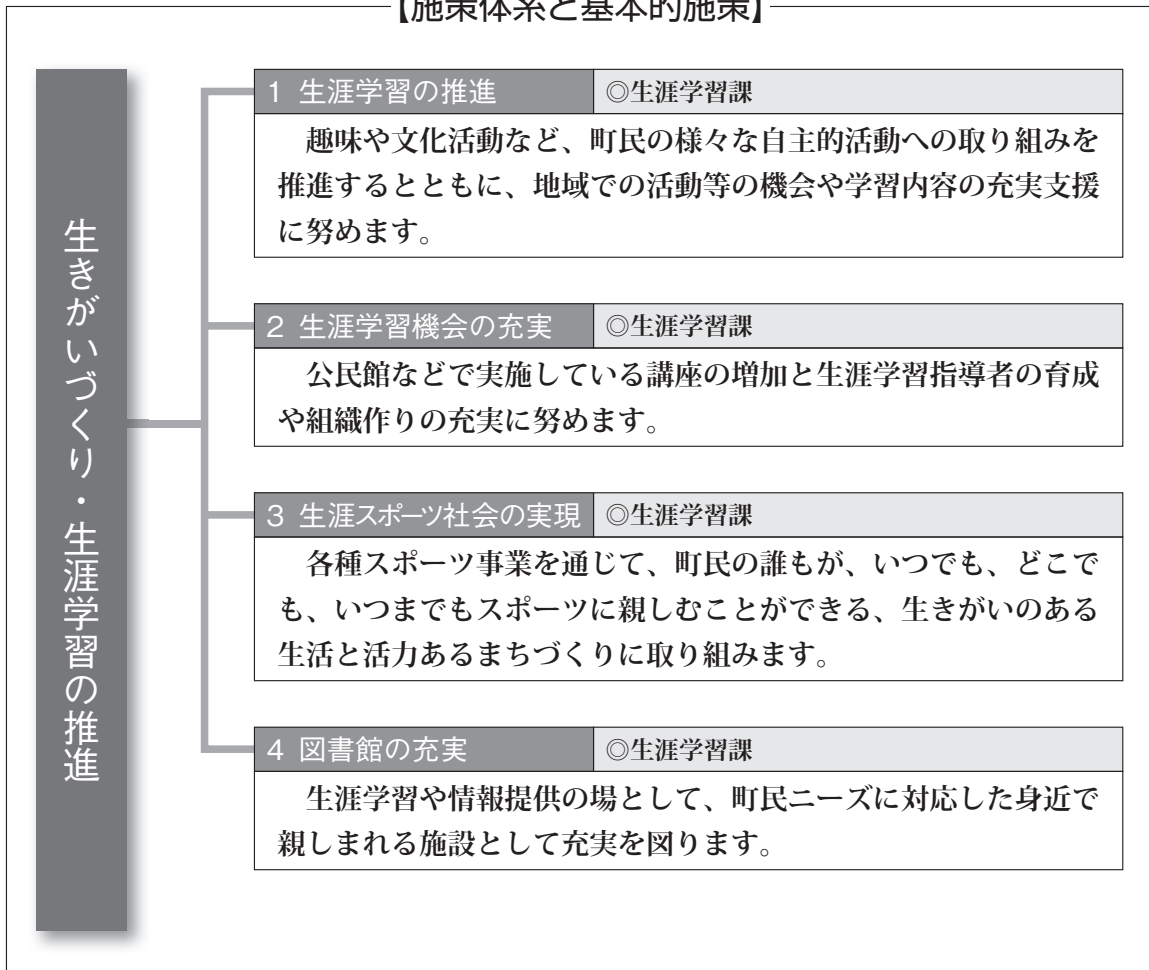
屋内プール水泳教室

1期(5月)～4期(3月)まで
受講者 合計375人
7～10回開催

アクアビクス みんなでスイスイ教室(2教室)
水の中で歩こう 水中エクササイズ 大人の水泳
腰膝&ウォーキング 親子水泳教室

資料：生涯学習課

【施策体系と基本的施策】



【主要な事業】

- ①生涯学習指導者の育成
- ②交流の場所の確保(地域間の連携も含む)
- ③生涯宝さがし事業*¹⁰

【成果指標】

	平成 19 年(現状値)	平成 24 年度目標
町民教養講座	11 講座 受講生 202 人	趣味や文化活動的な講座数は同様とし、リーダー養成やボランティア育成など地域密着の人材の育成
プール利用者	水泳教室受講率 66% 一般利用者 10,830 人	水泳教室受講率 80% 一般利用者 20,000 人
町内の図書館登録者数	14,140 人 (40.1%) 総数 15,918 人	17,500 人 (50%)

第5節 文化活動の振興と文化遺産の保護

【5年後の茨城町が目指す姿(目標像)】

- 伝統文化継承組織やリーダー育成による保存活動の実現
- 文化財の記録・保存・保護の継続
- 文化遺産を活用した史跡ルートの形成

【現況と課題】

本町においては、中央公民館を中心に文化・芸術活動が行われています。一方、伝統的な祭など、伝統文化の継承を活性化するために、組織や専門的な知識を持つリーダーの育成が求められています。

また、国指定の小幡北山埴輪製作遺跡等誇れる文化遺産が多くあり、記録・保存や保護をするとともに、史跡ルートなどとして活用しながら、文化財の保護意識を向上することも必要となっています。

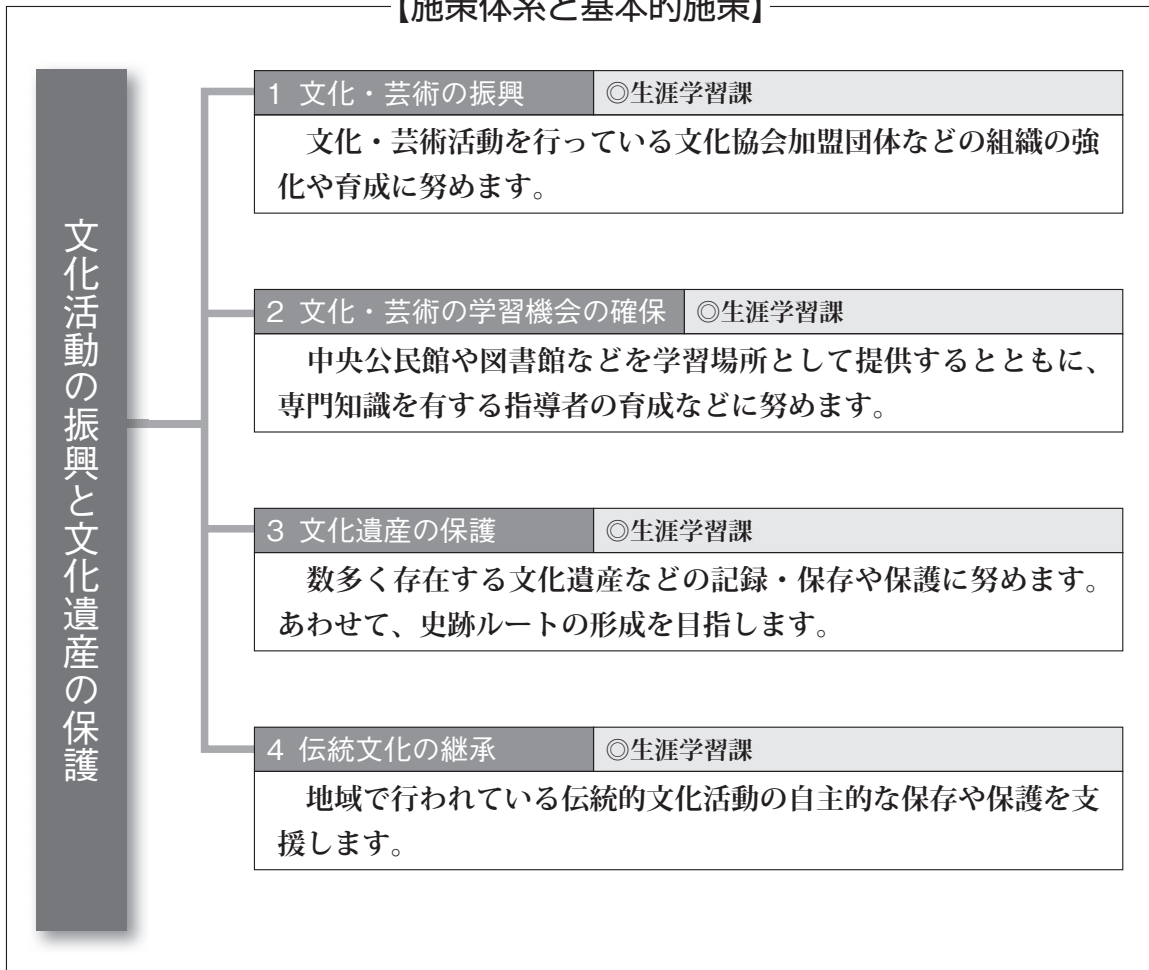
データ

町指定文化財一覧

種別	名称	所在地	種別	名称	所在地
記念物	神塚神社の椎の木	下石崎神塚神社	彫刻	穢跡金剛尊立像	下土師慈雲寺
〃	稲荷神社の大杉	木部稲荷神社	〃	木造阿弥陀如来坐像	小幡法円寺
〃	ヒヌマイトンボ	潤沼沿岸	〃	木造如来形坐像	上飯沼福性寺
〃	鹿島神社のイチョウ	野曾鹿島神社	〃	五輪塔	上飯沼福性寺
民俗	石像道標地藏尊	下石崎神塚神社	〃	木造十一面観音菩薩立像	神宿真照寺
〃	小幡ひよっこばやし	小幡	〃	銅像菩薩形立像	茨城町
〃	秋葉ばやし	秋葉	〃	木造阿弥陀如来坐像	木部密蔵院
史跡	飯沼城跡	上飯沼	〃	木造毘沙門天立像	下座阿弥陀堂
〃	勘十郎堀跡	城之内	〃	木造弥勒菩薩坐像(伝如来様)	上石崎一心院
〃	小幡城跡	小幡	〃	木造聖観世音菩薩立像	小幡香取神社
〃	水戸浪士の毛塚	長岡楠公社	建造物	穢跡金剛堂	下土師慈雲寺
〃	宝塚古墳	野曾	〃	木村家住宅	長岡
〃	上ノ山古墳	前田	考古資料	有角石斧	茨城町
〃	諏訪神社古墳群	木部	〃	墨書土器	茨城町
〃	栗山古墳群	木部	〃	有頭石棒	越安
〃	小幡北山埴輪製作遺跡(B・C地区)	小幡	〃	石枕	茨城町
彫刻	勝軍地藏	小幡法円寺	古文書	海老沢良久家文書	南島田
〃	阿弥陀如来三尊板碑	上飯沼福性寺			

資料：生涯学習課

【施策体系と基本的施策】



【主要な事業】

- ①組織の強化と育成
- ②文化事業の充実
- ③史跡ルートの形成

【成果指標】

	平成19年(現状値)	平成24年度目標
文化協会加盟団体数	27団体	加盟団体数の増加と同内容クラブの連盟化による組織強化を図ります。
町民祭		
出品者	2,547人	一般出品者の増加と作品のレベルアップを図ります。
参観者	8,432人	